

特別区におけるゼロエミッション

～脱炭素社会の実現を目指して～



講師：ふじの じゅんいち
藤野 純一氏

令和2年10月、第203回臨時国会の所信表明演説において、菅義偉内閣総理大臣は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち**2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す**」ことを宣言。「ゼロカーボンシティ」宣言等、各区で「2050年脱炭素社会」の実現に向けた取組が加速している中、特別区においては、地域の取組と密接に関わる「暮らし」、「社会」の分野を中心に、区民目線での**実効性のある取組**を推進していくことが求められています。

本研修では、脱炭素政策について第一線で活躍されている講師をお招きし、脱炭素化に向けた**他自治体の先進事例**や特別区における脱炭素化に向けた**具体的政策の展開方法、各区における既存計画との調整、導入時の留意点等**についてお話いただきます。

講師プロフィール - 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)
サステナビリティ統合センター プログラムディレクター／上席研究員

東京大学大学院工学系研究科博士学位取得。国立研究開発法人主任研究員などを経て、2019年度より現職。日本低炭素社会研究プロジェクト(平成16～20年度)やアジア低炭素社会研究プロジェクトの幹事(平成21～25年度)として携わり、また、中央環境審議会地球環境部会中長期ロードマップ小委員会専門委員として、2050年までに二酸化炭素排出量を大幅削減する「低炭素社会」のシナリオ作りに携わる。

さらに、「環境未来都市」構想有識者検討会委員として、自治体を支援、未来都市のコンセプトづくりに携わった経験もあり、国際的、国内的にエネルギー・環境問題、SDGsを中心に多方面で活躍している。

日時 令和3年 **11月30日(火)** 15:00～17:00

会場 **コンフォート新宿 Room A + B** ※受講者数により、会場が変更となる場合があります。
(新宿区新宿4丁目3-25 TOKYU REIT 新宿ビル7階)

対象 管理職及び係長級(定員100名) ※受講を希望する主任も可

申込 各区・事務組合の研修担当まで